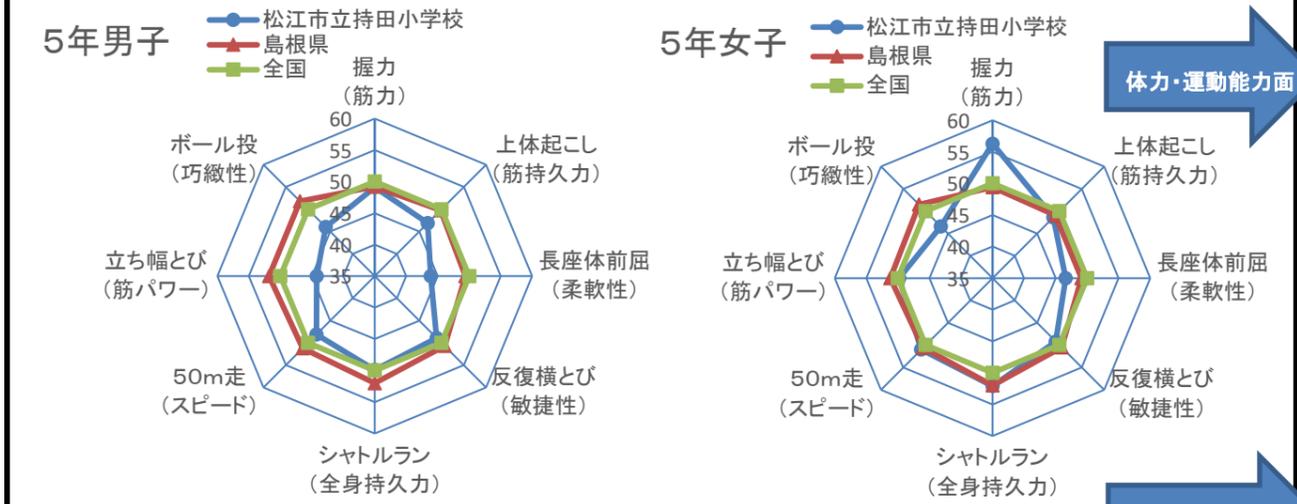
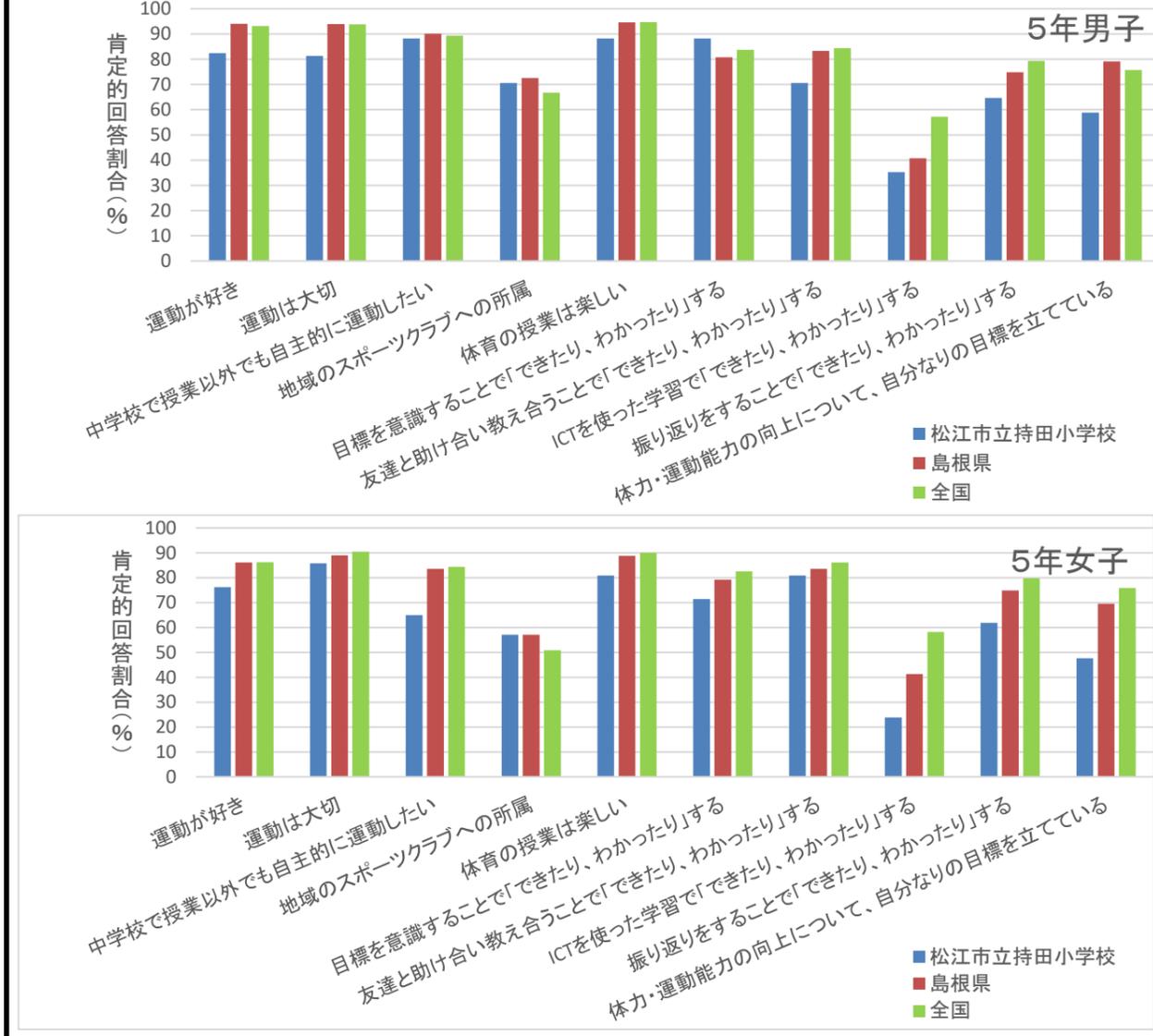


(1) 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査<意識調査>の結果  
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(2) 調査結果の分析

① 体力・運動能力面 全国(偏差値)との比較

	握力(筋力)	上体起こし(筋持久力)	長座体前屈(柔軟性)	反復横とび(敏捷性)	シャトルラン(全身持久力)	50m走(スピード)	立ち幅とび(筋パワー)	ボール投(巧緻性)
男子	-0.9	-3.1	-6.1	-1.1	-0.1	-1.9	-5.8	-4.0
女子	6.3	-1.4	-3.4	-0.8	2.1	1.0	-0.2	-3.4

[-5p以上] [-5~-2p] [-2~0p] [0~2p] [2~5p] [5p以上]

弱み ← → 強み

② 意識面 全国(割合%)との比較

	運動が好き	運動は大切	中学校で授業以外でも自主的に運動したい	地域のスポーツクラブへの所属	体育の授業は楽しい	目標を意識することで「できたり、わかったり」する	友達と助け合い教え合うことで「できたり、わかったり」する	ICTを使った学習で「できたり、わかったり」する
男子	-10.8	-12.5	-1.1	3.9	-6.5	4.5	-13.8	-21.9
女子	-10.0	-4.7	-19.3	6.2	-9.1	-11.1	-5.2	-34.4
	振り返りをする中で「できたり、わかったり」する		体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている					
男子	-14.7	-16.9						
女子	-17.9	-28.3						

[-7%以上] [-7~-3%] [-3~0%] [0~3%] [3~7%] [7%以上]

弱み ← → 強み

(3) 令和7年度の方針【学校全体での取組】

- 体力課題の向上**
  - 年度初めに持田小児童の体力課題等を職員全体で把握するための職員研修を実施する。
  - 今年度の課題である「上体起こし」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」に加え、R6の自校と県平均とを比較したところ、「シャトルラン」も課題に加わると思われるので、それらの数値を伸ばすためのおすすめの運動についての情報交換を行う。
- 体育授業の工夫・改善**
  - 持田小児童の体力課題を確認したうえで、継続して取り組むべき運動例や各学年、他校の取組を共有し、授業に取り入れる。
  - ICT機器の活用を検討する。児童の運動を撮影して次の運動に生かしたり、運動のコツを動画で見せたり、ICT機器の体育での活用を推進したり、どんな場面で活用したかの情報共有を行う。
- 体育授業以外の活動(学校全体での取組や環境の工夫、保護者への発信等)**
  - 「マラソン」「なわとび集会」「鬼ごっこ集会」等今年度行った全校での運動イベントの伝統化を目指す。
  - 器械運動発表会、表現運動発表会への参加を検討する。指導の仕方など学べる機会となるため。
  - 運動の環境を整える。体育器具庫の整理整頓、ボールの数確認だけでなく、鉄棒シーズンには体育館にも鉄棒を設置する等児童が運動しやすい、挑戦しやすい環境をつくっていく。
  - 体育に関わる教員の数を増やす。